

東アジアにおいて多大な貢献をなされた4名の受賞者の皆さまに、心からお慶びを申し上げます。

今、日本、中国、韓国で、新しい変化が起こっています。この変化は世界全体に影響を及ぼすでしょう。東アジアはASEANとともに、世界において今まで以上に重要な地域となるからです。

ASEANの10カ国プラス日本・中国・韓国・インド・オーストラリア・ニュージーランドの6カ国、そしてアメリカ、ロシアが今、東アジアサミットのメンバーとなりました。単に経済的繁栄のみでは未来に向けての盤石な基盤とはなり得ません。政治的な安定性、安全保障の確立のために、アンダーソン先生のナショナリズムの概念が重要となります。

ヨーロッパやアメリカはまだ景気が低迷しており、東アジアが世界の経済成長の牽引役となることを期待されています。私たちは東アジア全体の経済統合を進め、同時に互いを認め合い、多様性を包含する共同体構築を目指します。過去を振り返り、私たちが共通の起源を持っていることを再発見し、未来に向けたビジョンを共有することで、東アジアのアイデンティティーを構築することができるのです。

これまで私たちは経済的發展のみを重視し、あまりにも物質的に偏っていました。これからは自然とのバランスも考慮して持続可能な社会を構築することが、東アジア、そして世界における

最大の課題と私は考えます。

地球の人口は、2050年には90億人になると言われています。今後、食糧不足や環境破壊等の問題が拡大するでしょう。持続可能な世界を維持するには自然と調和した生き方が求められています。これはアジアの人々がもともと持っている価値観であると私は考えます。東アジア全体で今までの価値観を見直すことにより、東アジア共同体をつくり上げることができるのです。

古来、様々な文明の要素が、インドから中国、朝鮮半島へ伝わり、日本、奈良へと交流してきました。今こそ日本から逆戻りし、私たちの共通の過去、偉大な文明の遺産をベースにこのコミュニティを今後発展、進化させていかなければなりません。

私たちは、様々な環境問題に取り組んできました。将来、東アジア共同体を形成するうえで、自然との調和に目を向けることこそが非常に重要となります。

我々は、東アジア・アセアン経済研究センターを通じて、奈良の皆さまとともに新しい東アジアコミュニティのビジョンに貢献をしていきたいと考えます。

この素晴らしい第1回アジアコスモポリタン賞受賞の皆さまと、また今後受賞する方々と奈良が一体となって、より人間的な東アジア共同体の構築が可能であると私は確信しています。

